

AC・Netニュース

NO 166
2010年
6月15日

Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

梅雨の候、AC・Net会員の皆様におかれましては、
ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

長らく、ニュースの発行が遅さかっておりましたこととお詫びいたします。

昨年末に行われましたAC・Net12月例会にはお忙しい中、
多数の参加をいただき、
誠にありがとうございました。

お陰様を持ちまして好評のうちに終了いたしました。

次ページにご参加いただいた皆様の感想を掲載しております。
どうぞ、ご覧くださいませ。

また、今年度はAC・Netも20周年を迎えます。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



第183回 AC・Net (2009/12/2) 例会報告

～講演会から～

■場 所：大阪新阪急ホテル

■テーマ：《複合現実感、超臨場感インターフェース》

第183回 AC・Net 例会への多数のご参加、誠にありがとうございました。
アンケートからご意見を掲載いたします。

□演題：「屋外ギャラリー：
文化遺産の屋外展示とそれをささえるアーカイブ技術」
講師：東京大学 大学院情報学環(生産技術研究所)
教授 池内 克史氏

- 世界遺産を電子的にアーカイブ化するスケールの大きな試みに感心しました。今後も継続され、インターネット経由で体験できるようになると有難いです。
- e-Heritage プロジェクトは、もちろん、コストを無視した開発分野という発想等、大変興味深い話をありがとうございました。
- 計算式などの技術論に偏らなかったから、興味を持って聴くことが出来ました。



□演題：「超臨場感コミュニケーションとその研究動向」
講師：(独)情報通信研究機構 (NICT) けいはんな研究所
所長 榎並 和雅 氏



- 臨場感の溢れる3D立体TVが1日でも早く実現され、家庭でも体験できる日が来ることを心待ちにしています。
- 3Dテレビの近年の研究進展度がわかりました。
- 実用化の加速を期待したい。

第183回 AC・Net 例会は、盛会のうちに終了いたしました。
ご講演いただいた先生方ならびにご参加くださいました皆様大変有難うございました。
師走のあわただしい中、ご参加頂きまして心よりお礼申し上げます。

【事務局からのお知らせ】



◎講演会のご案内は、メール配信及び KARC の Web サイト
(www-karc.nict.go.jp/ACnet)にて行っております。

◎会員名簿情報に変更がある場合は、事務局までお知らせください。

〒651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 588-2

独立行政法人 情報通信研究機構 神戸研究所 未来 ICT 研究センター内

TEL/FAX 078-969-2132/2119

E-mail acnet@po.nict.go.jp